

業界トピックス

【製造業】

- ・受注の伸び悩み(電池部品ガasketの形成)
- ・景気の不安定が心配(計測機器・電子部品の部品制作及び部分組立)
- ・今後の従業員の高齢化が増え、若年層の技術者チェンジに人材不足(テレビ局ラジオ局等の放送設備機器特注品雄設計・製造)
- ・担い手の育成。過剰品質の要求(工業製品の塗装)
- ・不確実(マイクロスコープ、UVLED照射器)
- ・景気が良くなったと言っているが、仕入単価、賃金も上がっている。受注単価はずっと低下している為、中小企業はずっと低迷のまま何も変わらない。逆に悪化していると感じる。(アルミ製金属製品製造業)
- ・仕事の量が減少している。(カメラ部品、コピー部品、精密機器部品等の精密試作板金)
- ・受注増加(精密機械の製造)
- ・受注が1社だけ特質している事が心配。(電子機器の開発製造)
- ・県・市等の看板に対する規制が厳しくなり、設置場所、形状等で撤去が多くなり、売上不振が続いている。(屋外広告看板の製作及び看板設置工事)
- ・材料等仕入れ品の値上げ(吸音材の加工)
- ・景気の良くなっている実感は全くありません。2007年からずっと赤字続きで事業の継続に不安がある。(コンベアー、機械設備一般)
- ・全体として若干ながら上向きの雰囲気があり受注増・仕入高の上昇などが見られます。特に近年注目度の高い再生可能エネルギーの業界にあっては好況感が出てきました。反面専門性の高い人材の不足・生産キャパシティの問題への取組が急務となっています。(小水力発電設備の設計・製造・販売及び据付)

【建設業】

- ・新規受注の減少(給排水設備工事)(一般木造住宅)
- ・得意先からの受注変化(冷凍・冷蔵、空調機器の撤去、設置工事)
- ・従業員の不足、求人募集しても応募がない。(給排水設備工事)
- ・お客様からは消費税をサービスして欲しいと言われるが、売上はしっかり消費税が取られる。(一般住宅の左官塗装工事)
- ・人手不足による受注の見送り(防水工事業)
- ・前年同様の動き出し、建設関係は繁忙期は例年通りでその時期の人材確保が懸念される。(内装工事、家具工事、造作工事、建具工事、LGS工事、ボード工事等)
- ・従業員の高齢化(塗装、内装、防水工事業)

【小売・卸売業】

- ・不要なものを買わない(レース障子・ラミポスター製造販売)
- ・体調を崩して動けなかったのが大きかったが、元気になったのでばりばり働きたい。
体調を崩したときも商工会議所の職員や皆様が暖かく見守ってくださり感謝の気持ちでいっぱいです。諦めずがんばります。(オリックス生命代理店保険商品)
- ・仕入れ単価がアップで売りづらい。(青果肉魚乾物惣菜食料品)
- ・お客様のニーズの多様化(物品販売)
- ・公共事業の仕事の受注がなく仕入れ単価の売上により、板ばさみ状態である。消費税が上がった為消費意欲が見えてこない(未記入)
- ・近所に大型店スーパーが出来てきているので不況感を感じる(八百屋)
- ・購買力が上がってこない(食料品、日用品)
- ・人件費、原材料費がとも上がっている。人材不足もあり非常に商売しづらい。(弁当、惣菜の製造販売)
- ・仕入れ値は上がったが、売価は上げられないので厳しい(パン製造販売)
- ・昨年10月に近隣に強力な安売り店が出店し、それ以来苦戦を強いられている。(未記入)
- ・売上は前年とほぼ同一であるが、広告費等の販売費が増大したことから、大幅な利益率の低下となってしまった。
同業他社の影響もあるが、個人の消費が低迷していることが一番の要因だと考えている。(健康食品の製造委託販売)

【飲食・サービス業】

- ・消費の低迷、物価の上昇(ピザ、パスタ、肉料理)
- ・景気がよくない(大衆酒場)
- ・全体的に見てサラリーマン家庭の外食が少なくなっている。消費税が上がるたび負担を感じるし売上が落ち込む(アルコール、食品)
- ・5年前の口蹄疫(家畜伝染病)の影響で流通量が少ないこと、価格が上昇しているため販売価格に影響させずに安定してよい品質のものを探るのが難しいときがある。(和牛ステーキ等鉄板焼きレストラン)
- ・高齢者がほとんどで、若年層が非常に少ない。(海鮮)
- ・消費者の方々の不景気がそのまま反映してくるのでなかなか厳しい状況です。(和食、宴会料理、定食など)
- ・住宅建設に関して、プレハブメーカーその他大手住宅メーカーに対抗する地元建設業者の育成が必要。(土地測量、登記建物土地、家屋調査)
- ・当事務所並びに顧問先についてもあまり好況感が出ていない。消費税の増税と消費物価の上昇で収益は下降傾向にある。(税理士)
- ・雇用しても3年未満に退職者が増えている。5月に退職者が多い。(未記入)
- ・二極化、雇用状況(不動産全般)
- ・低価格店に消費者が流れること。(理容業)
- ・新築、中古建物共に不動産市場の低迷(不動産登記、商業法人登記、債務整理他)
- ・大企業ほど単価の値引きがひどすぎる。物価が上がるのではなく下げるほうに製造の価値が動いているように思われる。(2D、3D機械及び装置の設計)
- ・業種により好不調に差が大きい。(Cinpres Machine VP30、Vacuum Temperature Machine VH20A)
- ・消費税増加による個人消費低迷(自動車販売、修理及び保険業)
- ・廃棄物発生量平成27年1月～3月多い、平成27年4月～6月少ない。(産業廃棄物処理)
- ・システム機器値上げを感じる。ノートパソコン売値に影響が気になる。(システム開発)
- ・労働時間の短縮(空缶の輸送業)
- ・従業員不足(税理士業)
- ・価格圧力がある(行政書士業)
- ・円安による燃料高騰で物価上昇。求人募集しても人が集まらない。(運送、食品全般)
- ・相続税申告等の好調なものはより注力し、不調な顧問先企業等の減少は最小限になるように努力したい。(税理士業、社会保険労務士業)
- ・消費が伸びない(税理士)
- ・景気の上昇感がない(申請代行業務)
- ・テナントの出店意欲が高まっている。(商業施設の管理・運営)
- ・大規模企業の経営良好と聞くと小規模事業者まで浸透してきていないと思う。(税理士業)
- ・高齢者急増といわれている割には、男性社会参加がいまひとつ伸びが鈍いと感じる。(介護、認知症予防のシニア向けコミュニケーションカフェ)
- ・個人消費が低迷しているようで輸送物が少ない(物流コンサル)